

市民生活への影響

生活に必要な施設の減少

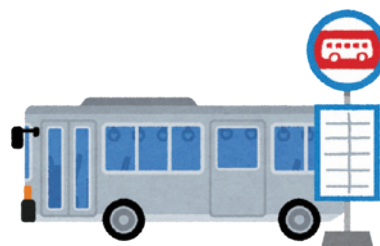


閉店

閉院

生活に必要な施設（スーパー、病院など）が撤退することで、生活の利便性が低下します。

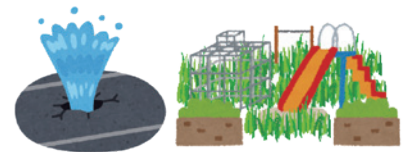
公共交通の縮小・撤退



減便・廃線

公共交通機関の利用者減少により、減便や廃線が増加する可能性があります。

財政規模の縮小・公共施設の老朽化・行政サービスの低下



老朽化

維持管理不足

老朽化する公共施設の維持管理に必要な財源の不足や、維持管理が滞ることで、行政サービスの低下が予想されます。

こうならないための
立地適正化計画

立地適正化計画とは

公共・民間のサービス施設や居住の立地を一定の範囲に誘導し、その地域の人口減少や高齢化を抑制することで、コンパクトで安全・安心な、暮らしやすいまちを構築するための計画です。

具体的には

- 公共施設や民間サービス施設、居住者を一定の範囲へ誘導し、過去に分散したまちをコンパクトなまちに再構築します。
- ただコンパクトにするのではなく、生活に重要な拠点と公共交通機関でつなぎ、移動しやすくします。
- おおよそ20～30年後を見据えて計画的に誘導を図っていきます。
- まちなかでは、徒歩で移動が可能な「歩けるまち」をめざし、市民の健康増進を図ります。
- 近年の水・土砂災害の激甚・頻発化を踏まえ、災害に強い安全なまちをめざします。

～めざす都市のイメージ～

2045年

公共・民間のサービス施設や居住が集中立地
⇒サービス施設の利用者の減少が抑えられる



なるほど。南魚沼市で人口減少が進んでも、生活サービスや住宅が集中したコンパクトなまちをつくれれば、スーパーの閉店や空き家の発生は減らせるんだね。